

埋込ボックス	適合器具(LED水中照明器具)
YYY90155	YYY86501、YYY86503

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

**施工説明** 工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

### 安全に関するご注意

#### 警告

- 施工は、施工説明にしたがい確実に行う。施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。
- 埋込ボックスを改造しない。火災・感電・落下の原因となります。

#### 注意

- 埋込ボックスは、コンクリート流し込み用として使用しないでください。火災・感電・浸水・不点の原因となります。
- 電源ケーブル引込み用金属管と電源ケーブル貫通部分は必ずコーキング処理を施してください。  
コーキングに不備があると配管内への浸水・腐食の原因となります。
- 電気配線工事は、電気設備技術基準の第187条「水中照明灯の施設」、内線規程3550節「水中照明などの施設」に従って行ってください。不備があると、感電・火災の原因となります。
- 枠表面には突起加工を施し、滑りにくい仕様としていますが、歩行の際にはご注意ください。滑りによる転倒の原因となります。
- 器具の取付け取外しは手袋など保護具を使用してください。けがの原因となります。

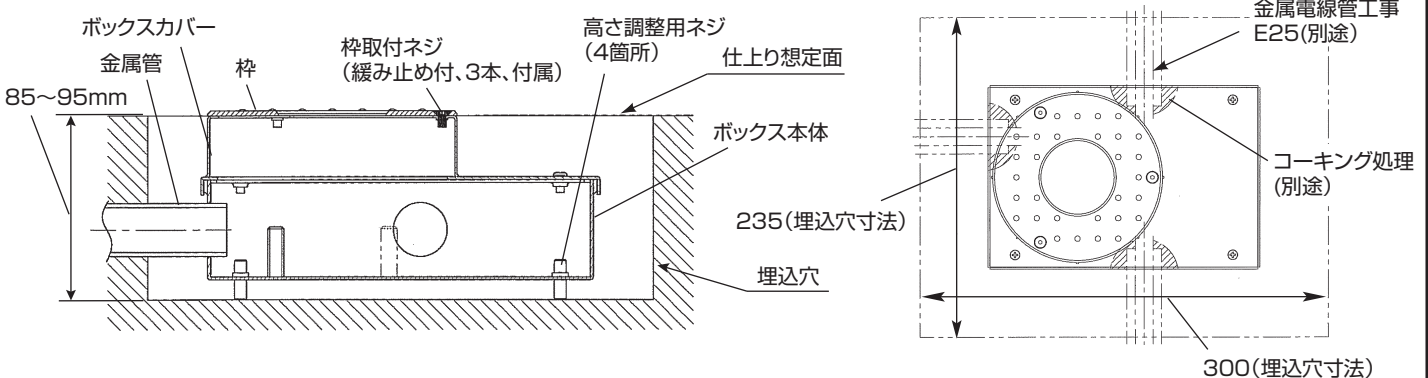
### 各部のなまえと取付方法

#### 警告

施工は、施工説明にしたがい、確実に行う。  
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

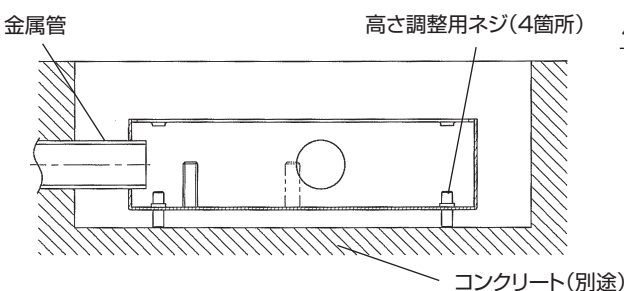
#### 埋込ボックスの設置前準備

コンクリート打設前に金属管を配管し、埋込穴を準備する。



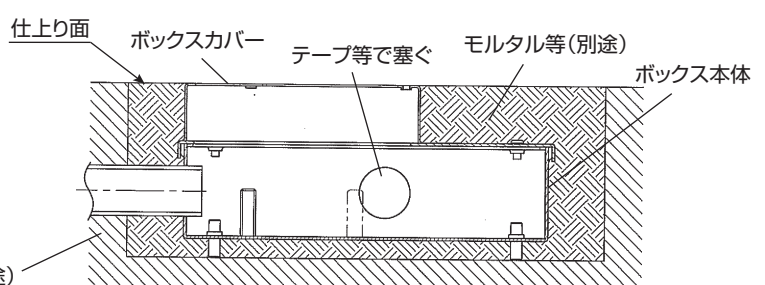
#### 1 埋込ボックスを取付ける

枠、ボックスカバーを外して高さ調整ネジを回して高さを調節し、金属管を引き込む。金属管は3方向から引き込み可能です。(右上図参照)



#### 2 モルタル等により処理する

使用しないボックス本体側面部の穴はテープ等であらかじめ塞いでおいてください。ボックスカバーをボックス本体に取付け、ボックスカバー上面を基準にモルタル等(別途)で処理してください。



## 各部のなまえと取付方法(つづき)

### 3 電源ケーブルを金属管に通しコーキング処理を施す

器具に付属の電源ケーブルを金属管に通し、必要長さ(1m程度)を確保する。出代が短い場合、水上での保守点検ができません。コーキング剤を用いて金属管の出代部分および電源ケーブル貫通部全体をコーキングする。コーキング剤はコーキング部に対して接着性が良く、金属に対する腐食性のないもので高粘度で流動性の低いコーキング剤をご用意ください。

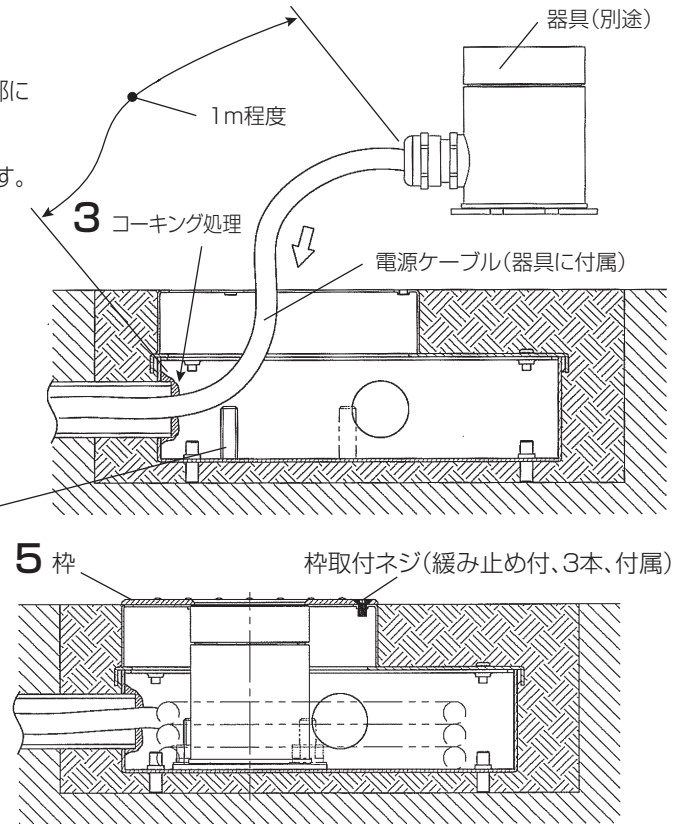
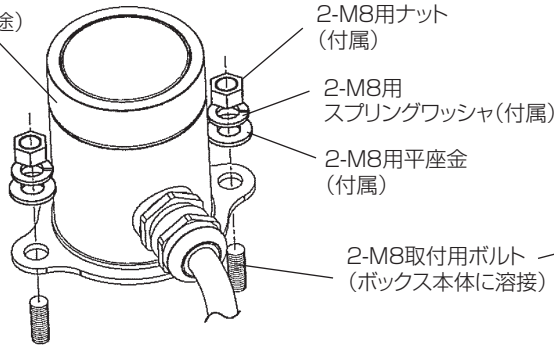
#### <市販コーキング剤の例>

- ・ コニシボンド製 水中ボンドE380(エポキシ樹脂)
- ・ 信越化学工業製 プライマーMT(前処理剤)  
+RTVゴム・KE45(コーキング剤)
- ・ 東芝シリコーン ME121(前処理剤)  
+TSE392(コーキング剤) 等

### 4 器具を埋込ボックスに収納する

器具と電源ケーブルをボックス内部に収納して、埋込ボックスの取付ボルト部に器具を確実に取付ける。(推奨締付トルク:18N・m)  
器具の取付けは、器具の取扱説明書にしたがい、施工を行ってください。  
器具の接地工事および器具の固定が不十分な場合、感電等の原因となります。不備があると火災・感電・不点の原因となります。

#### 4 器具(別途)



### 5 枠を取付ける

付属の枠取付用ネジ3本(緩み止め付)にて枠をボックスカバーに固定する。  
(推奨締付トルク: 1N・m)

## 取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

## 安全に関するご注意

### ⚠ 警告

- 器具を改造しない。火災・感電・浸水の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

### ⚠ 注意

- 水温35℃を超える場所では使用しないでください。ケーブル劣化による感電の原因となります。
- 埋込ボックスには寿命があります。設置して10年(※)経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。点検交換してください。※:使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。詳細は器具の取扱説明書をご参照ください。

## お手入れについて

⚠ 注意 (必ず、電源を切って行なってください。感電・やけどの原因となります。)

- ・器具の清掃について…… 水または中性洗剤を用いて汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色、変質、強度低下による破損の原因となります。銅イオンをお使いの噴水などに設置されている場合、埋込ボックス表面に銅が付着し、変色した状態になりますが問題ありません。銅イオンを除去したい場合はスポンジたわしなどでこすれば除去できます。